

2006年1月13日  
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
第一生命保険相互会社

～ 提携5周年記念共同キャンペーン「がんの子どもたちへの贈りもの」 ～  
アフラックと第一生命による寄付金の寄贈について

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長:幹 晶稔)と第一生命保険相互会社(社長:斎藤 勝利)(以下「第一生命」)は、2005年9月、両社による業務提携が5周年を迎えたことを記念して、「がんの子どもたちへの贈りもの」キャンペーンを共同で展開し、このたび財団法人「がんの子供を守る会」へ下記のとおり寄付金を寄贈しました。

記

1. キャンペーン概要

期 間) 2005年9月～11月(3ヵ月)

仕 組 み) アフラックのがん保険<sup>(注)</sup>について、両社の販売件数に応じて以下のとおり寄付金を拠出し、財団法人「がんの子供を守る会」に寄贈する。

アフラックによる販売: 1件につき100円

第一生命による販売: 1件につき200円

第一生命より100円、アフラックよりマッチングギフトとして100円の合計額

注) 第一生命は2001年3月以降、アフラックより募集代理・事務代行の委託を受け、アフラックのがん保険を販売しています。

寄付金額) アフラック販売分: 8,952,800円

第一生命販売分: 13,488,600円(含むアフラックからのマッチング分: 6,744,300円)

合 計: 22,441,400円

2. 贈呈式

去る1月10日に第一生命本社ビルにて行われた贈呈式において、アフラック米国本社CEO・ダニエル P. エイモス、同日本社社長・幹晶稔、第一生命社長・斎藤勝利より、財団法人「がんの子供を守る会」の垣水孝一理事長に寄付金の目録を寄贈しました。

3. 寄贈先

財団法人「がんの子供を守る会」は、1968年、小児がんで子供を亡くした親たちによって設立された団体です。主な活動内容は、小児がん治療への研究助成、経済的理由により適切な治療を受けられない患者への助成や看病のための宿泊施設の運営、ソーシャルワーカーによる相談活動等です。また、同財団は第一生命が主催する平成16年度「第56回保健文化賞」の受賞団体です。

保健文化賞: 昭和25年、当時の第一生命社長 矢野一郎が公衆衛生の向上を重視し、保健衛生分野において、すぐれた業績をあげた団体や個人に感謝を捧げる意味で創設した賞。これまでの受賞対象となった業績は、保健医療、地域保健、生活環境、母子保健、老人保健福祉等、多方面にわたっています。